

平成18年度 社会教育活動の実態に関する基本調査事業
「社会教育委員の職務等に関する実態調査」調査票

《都道府県教育委員会事務局用》

平成18年12月

社会教育委員の職務等に関する調査研究委員会
委員長 讃岐幸治
(放送大学愛媛学習センター所長・愛媛大学名誉教授)
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長
馬場 祐次朗

この調査は、都道府県及び市区町村の社会教育委員の職務等に関しての実態調査を行い、社会教育委員の活動を活性化するための基礎資料とするとともに、社会教育委員の活動の課題や方向性を整理・分析し、その成果をもって社会教育活動の活性化に資することを目的としています。

お忙しいとは存じますが、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本年4月に行った「社会教育行政等に関する調査」(文部科学省生涯学習政策局社会教育課)でご回答いただいた内容については、本調査研究に活用させていただきますが、調査の都合上、一部再調査させていただいている項目もあります。ご理解とご協力をお願い致します。

《記入前にお読みください》

- 1 調査基準日は、平成18年4月1日とします。また、記入に際しては、「社会教育行政等に関する調査」(平成18年4月文部科学省生涯学習政策局社会教育課)において回答された内容に十分ご留意ください。
- 2 社会教育委員を設置していない自治体については、「問1」のみを記入して、調査票を送付してください。

《調査票の提出方法》

別紙の「都道府県 教育委員会事務局対象調査 記入上の留意事項[全体]」に記載してある方法により提出してください。

《調査内容についての問い合わせ先》

社会教育委員の職務等に関する調査研究委員会事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター内

担当: 専門調査員 安部正俊(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

電話: 03-3823-8683 FAX: 03-3823-3008

《都道府県用 個票》

都道府県

《回答者についてご記入ください》

都道府県名	
回答担当部署	
郵便番号・所在地	
記入者職・氏名	
電話番号	
F A X 番号	

問1 平成18年4月1日現在の貴都道府県の社会教育委員の設置状況について該当するものに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 設置している | 2. 設置していない |
| | ↓ |
| | SQへ |

SQ 「設置していない」と答えた方に伺います。設置していない理由は何ですか。

--

問2 過去3年間(平成15～17年度内)貴都道府県の社会教育委員の会議では、政策提言、意見具申等を行いましたか。該当するものに○をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 行った | 2. 行っていない |
| ↓ | ↓ |
| SQ1・2へ | SQ3へ |

SQ1 問2で「行った」と答えた方に伺います。それはどのような内容のものですか。政策提言等の区分とテーマ・題名をご記入ください。

※区分は、貴行政機関に提出された、答申・意見具申・建議・提言・報告・意見書・審議のまとめ・審議経過の報告等の種別をご記入ください。

年度	区分	政策提言・意見具申等のテーマ・題名
平成15年度		
平成16年度		
平成17年度		

SQ2 問2で「行った」と答えた方に伺います。過去3年間のうちに提出された政策提言等の内容に盛り込まれた構想・施策・事業等で、その後生涯学習・社会教育の行政(施設含む)において具現化・具体化したものはどのようなものですか。主なものを3つご記入ください。

(例:家庭教育事業の充実、学校との連携・融合の促進、ニート対策の新設等)

①
②
③

SQ3 問2で「行っていない」と答えた方に伺います。行っていない理由は何ですか。具体的にご記入ください。

問3 貴都道府県の社会教育委員の会議に、「小委員会」や「専門部会」等を設置していますか。該当するものに○をつけてください。

※「小委員会」や「専門部会」等とは、様々な課題に沿って専門的に協議を行うことをねらいとし、少数の委員で編成した組織です。

1. 設置している
2. 設置していない
 ↓
 SQ1・2へ

SQ1 問3で「設置している」と答えた方に伺います。「小委員会」や「専門部会」等の名称、平成18年度の開催回数(予定を含む)、協議内容を簡単に記入ください。

組 織 の 名 称	開 催 回 数	協 議 内 容
	回	
	回	
	回	

SQ2 問3で「設置している」と答えた方に伺います。「小委員会」や「専門部会」等で協議された結果については、どのように反映されましたか(予定を含む)。該当するものに○をつけてください。

1. 答申、建議等に反映された。
2. 答申、建議等には反映されなかったが、施策・事業に取り上げられた。
3. その他(_____)

問4 貴都道府県の平成18年度における社会教育委員の会議の主な議題(予定を含む)は何ですか。社会教育関係団体への補助金交付等の定例的な案件を除き、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 年間事業計画
2. 生涯学習の推進
3. 公民館活動
4. 図書館活動
5. 博物館活動
6. 生涯スポーツ
7. 家庭教育・子育て支援
8. 青少年教育
9. 高齢者教育
10. 男女共同参画学習
11. 情報教育
12. 環境教育
13. 人権教育
14. 国際理解教育
15. 文化財保護
16. グループサークル活動
17. ボランティア活動
18. 学習情報・学習相談
19. 施設ネットワーク
20. 学社連携・融合
21. 司法制度・裁判員制度に関する教育
22. 防災・防犯に関する教育
23. 社会教育活動への地域住民の参画・協働の促進
24. 地域の教育力の向上
25. 高齢社会への対応
26. キャリア教育(フリーター・ニート等への対応)
27. 子どもの基本的な生活習慣や規範意識の醸成
28. 公民館等の社会教育施設に関する指定管理者制度の導入
29. その他(_____)

問5 社会教育委員の会議の議事内容等はどのように公開されていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 議事録を自治体のホームページに公開している。
2. 議事録を所管課窓口や図書館等の行政機関で閲覧できる。
3. 情報開示請求があれば対応している。
4. 議事録の公開はしていない。
5. その他(_____)

問6 貴都道府県の社会教育委員の委嘱に当たって、公募制(一部、全部いずれも含む)を導入していますか。該当するものに○をつけてください。

1. 導入している 2. 導入していない

↓

SQ1・2へ

SQ1 問6で「導入している」と答えた方に伺います。公募制を導入している目的は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 住民の意見やニーズの把握・反映
2. 「社会教育委員の会議」の活発化
3. 「会議」出席以外の「社会教育委員」の活動の活性化
4. 「住民との協働」の一環
5. 地域人材の活用
6. 公募委員導入が自治体の方針
7. その他()

SQ2 問6で「導入している」と答えた方に伺います。公募制は、いつから取り入れていますか。

昭和・平成	年	月から
-------	---	-----

問7 現在の社会教育委員の中で、貴自治体が設置する各種会議等の委員を、兼務している方がいますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 生涯学習審議会委員
2. 博物館協議会委員
3. 図書館審議会委員
4. 家庭教育、子育てに係る審議会等委員
5. スポーツ振興に係る審議会等委員
6. 健康増進に係る審議会等委員(食育を含む)
7. 青少年問題に係る協議会等委員
8. 職業能力開発に係る審議会等委員(ニート対策含む)
9. 交通安全対策に係る委員会等委員
10. 消費者問題に係る審議会等委員
11. 人権施策推進に係る審議会等委員
12. 男女共同参画推進に係る審議会等委員
13. 環境問題に係る審議会等委員
14. 社会福祉に係る審議会等委員
15. 市町村合併推進に係る審議会等委員
16. まちづくりに係る審議会等委員
17. その他()

問8 平成18年度の貴都道府県における社会教育委員の会議等に関する経費のうち、①会議出席に係る委員報酬等・旅費、②研究調査に係る経費、③研修に係る経費、④その他の活動に係る経費は、予算措置されていますか。予算措置されているものには予算額の総額を記入してください。なお、予算措置されていないものには「0円」とご記入ください。

種 別	金 額
①会議出席に係る委員報酬等・旅費	円
②研究調査に係る経費	円
③研修に係る経費	円
④その他の活動に係る経費	円



※「その他の活動に係る経費」が予算措置されていると答えた方は、SQへ

SQ 問8で「その他の活動に係る経費」を予算措置されていると答えた方に伺います。それは何を行うための経費ですか。具体的にご記入ください。

問9 貴都道府県では、平成18年度に「社会教育法第17条第2項」の規定に基づき、社会教育委員が、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べたことがありますか。該当するものに○をつけてください。

1. ある

2. ない

↓

↓

SQ1へ

SQ2へ

SQ1 問9で「ある」と答えた方に伺います。平成18年度の意見内容(予定を含む)を簡潔にご記入ください。

SQ2 問9で「ない」と答えた方に伺います。社会教育委員の意見は、教育委員会の会議にどのような方法で反映していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 答申や建議書等を資料として配付している。
2. 社会教育委員の会議の審議内容について事務局から説明している。
3. 教育委員会に社会教育委員の会議の議事内容を資料提供している。
4. 教育委員と社会教育委員の意見交換の機会があり、そこで意見を述べている。
5. その他()

問10 貴都道府県では、平成18年度に「社会教育法第17条第1項3号」の規定に基づき、社会教育委員として、研究調査を行っていますか(視察・調査・情報収集・研究協議等。予定を含む)。該当するものに○をつけてください。

1. <u>行っている</u>	2. <u>行っていない</u>
↓	↓
SQ1へ	SQ2へ

SQ1 問10で「行っている」と答えた方に伺います。平成18年度の研究調査は、どのような内容ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(機関・団体が実施している研究会・研修会への参加は除きます。)

1. 様々な機関・団体における優れた社会教育事業の視察
2. 優れた取組を行っている社会教育施設等の視察
3. 社会教育に関する地域住民の意識調査の実施
4. 社会教育に関する地域の実態調査の実施
5. 地域住民の意向を把握するため社会教育委員の会議として実施した地域懇談会の開催、モニターの活用等の広聴活動
6. 他の都道府県の社会教育委員との意見交換又は研究協議
7. 教育委員との意見交換又は研究協議
8. その他()

SQ2 問10で「行っていない」と答えた方に伺います。社会教育に関する地域住民の意識の把握はどのような方法でなされていますか。工夫されていることなどを具体的に記入ください。

問11 貴都道府県では、社会教育委員が参加している研修はありますか。該当するものに○をつけてください。

1. <u>ある</u>	2. <u>ない</u>
↓	↓
SQ1へ	SQ2へ

SQ1 問11で「ある」と答えた方に伺います。参加している研修は、どのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. (社)全国社会教育委員連合や都道府県社会教育委員連絡協議会等が実施する研究大会への参加
2. その他の社会教育関係団体(PTA・公民館等)が実施する研究大会への参加
3. 貴都道府県が実施する社会教育関係者対象の研修会への参加
4. 新任の社会教育委員を対象に社会教育に関する学習会を実施
5. 事務局職員等との研究会・研修会を実施
6. その他()

SQ2 問11で「ない」と答えた方に伺います。それはなぜですか。該当するものに○をつけてください。

1. 予算が措置されないから
2. 社会教育委員が多忙であるため参加者が少ないから
3. 参考となる研修会がないから
4. その他()

問12 貴都道府県では、現在、社会教育委員の今日的な役割として期待していることはどんなことですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 社会教育に関する諸計画の立案
2. 社会教育に関する建議や教育委員会の諮問に対する答申
3. 地域の社会教育に関する研究調査
4. 社会教育関係団体への補助金交付に対する意見具申
5. 貴都道府県内の社会教育に関するネットワークの形成
6. 他県の先進的な社会教育事業に関する情報の収集・提供
7. 地域の社会教育に関する情報の行政への提供
8. 行政担当者との頻繁な意見交換やアイデアの提供
9. 住民の意向を行政や施策の運営に反映させるためのパイプの役割
10. 社会教育行政施策や事業の地域への普及
11. まちづくり・地域づくりへの積極的な貢献
12. 家庭・地域の教育力向上に関しての積極的な貢献
13. 家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割
14. その他()

問13 社会教育委員の会議の担当者として、社会教育委員の活動の課題について、お考えを自由に記述してください。

質問項目は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。

平成18年度 社会教育活動の実態に関する基本調査事業
「社会教育委員の職務等に関する実態調査」調査票

《市区町村教育委員会事務局用》

平成18年12月

社会教育委員の職務等に関する調査研究委員会
委員長 讃岐幸治
(放送大学愛媛学習センター所長・愛媛大学名誉教授)
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長
馬場 祐次朗

この調査は、都道府県及び市区町村の社会教育委員の職務等に関しての実態調査を行い、社会教育委員の活動を活性化するための基礎資料とするとともに、社会教育委員の活動の課題や方向性を整理・分析し、その成果をもって社会教育活動の活性化に資することを目的としています。

お忙しいとは存じますが、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本年4月に行った「社会教育行政等に関する調査」(文部科学省生涯学習政策局社会教育課)でご回答いただいた内容については、本調査研究に活用させていただきますが、調査の都合上、一部再調査させていただいている項目もあります。ご理解とご協力をお願い致します。

《記入の前にお読みください》

- 1 調査基準日は、平成18年4月1日とします。また、記入に際しては、「社会教育行政等に関する調査」(平成18年4月文部科学省生涯学習政策局社会教育課)において回答された内容に十分ご留意ください。
- 2 社会教育委員を設置していない自治体については、「問1」のみを記入して、調査票を送付してください。
- 3 近年、市町村合併があった場合は、新自治体における実績を記入するだけで結構です。
(旧市町村の実績を調べたりする必要はありません)
- 4 当該市区町村で、以前は社会教育委員を設置していたが現在設置していない場合は、調査項目に該当するものがあれば、ご記入ください。

《調査票の提出方法》

別紙の「市区町村 教育委員会事務局対象調査 記入上の留意事項[全体]」に記載してある方法により提出してください。

《調査内容についての問い合わせ先》

社会教育委員の職務等に関する調査研究委員会事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター内

担当：専門調査員 安部正俊(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

電話：03-3823-8683 FAX：03-3823-3008

《市区町村用 個票》

市区町村

《回答者についてご記入ください》

市区町村コード	
都道府県名	
市区町村名	
回答担当部署	
郵便番号・所在地	
記入者職・氏名	
電話番号	
FAX番号	

問1 平成18年4月1日現在の貴市区町村の社会教育委員の設置状況について該当するものに○をつけてください。※市町村合併に伴い、設置条件は設けられているが、現在手続き中(委嘱作業中)のため発令が行われていないものは、「設置」と見なします。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 設置している | 2. <u>設置していない</u> |
| | ↓ |
| | SQへ |

SQ 「設置していない」と答えた方に伺います。設置していない理由は何ですか。

問2 過去3年間(平成15～17年度内)貴市区町村の社会教育委員の会議では、政策提言、意見具申等を行いましたか。該当するものに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. <u>行った</u> | 2. <u>行っていない</u> |
| ↓ | ↓ |
| SQ1・2へ | SQ3へ |

SQ1 問2で「行った」と答えた方に伺います。それはどのような内容のものですか。政策提言等の区分とテーマ・題名をご記入ください。

※区分は、貴行政機関に提出された、答申・意見具申・建議・提言・報告・意見書・審議のまとめ・審議経過の報告等の種別をご記入ください。

年 度	区 分	政策提言・意見具申等のテーマ・題名
平成15年度		
平成16年度		
平成17年度		

SQ2 問2で「行った」と答えた方に伺います。過去3年間のうちに提出された政策提言等の内容に盛り込まれた構想・施策・事業等で、その後生涯学習・社会教育の行政(施設含む)において具現化・具体化したものはどのようなものですか。主なものを3つご記入ください。

(例:家庭教育事業の充実、学校との連携・融合の促進、ニート対策の新設等)

①
②
③

SQ3 問2で「行っていない」と答えた方に伺います。行っていない理由は何ですか。具体的にご記入ください。

--

問3 貴市区町村の社会教育委員の会議に、「小委員会」や「専門部会」等を設置していますか。該当するものに○をつけてください。

※「小委員会」や「専門部会」等とは、様々な課題に沿って専門的に協議を行うことをねらいとし、少数の委員で編成した組織です。

1. 設置している 2. 設置していない

↓

SQ1・2へ

SQ1 問3で「設置している」と答えた方に伺います。「小委員会」や「専門部会」等の名称、平成18年度の開催回数(予定を含む)、協議内容を簡単にご記入ください。

組 織 の 名 称	開 催 回 数	協 議 内 容
	回	
	回	
	回	

SQ2 問3で「設置している」と答えた方に伺います。「小委員会」や「専門部会」等で協議された結果については、どのように反映されましたか(予定を含む)。該当するものに○をつけてください。

1. 答申、建議等に反映された。
2. 答申、建議等には反映されなかったが、施策・事業に取り上げられた。
3. その他()

問4 貴市区町村の平成18年度における社会教育委員の会議の主な議題(予定を含む)は何ですか。社会教育関係団体への補助金交付等の定例的な案件を除き、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 年間事業計画
2. 生涯学習の推進
3. 公民館活動
4. 図書館活動
5. 博物館活動
6. 生涯スポーツ
7. 家庭教育・子育て支援
8. 青少年教育
9. 高齢者教育
10. 男女共同参画学習
11. 情報教育
12. 環境教育
13. 人権教育
14. 国際理解教育
15. 文化財保護
16. グループサークル活動
17. ボランティア活動
18. 学習情報・学習相談
19. 施設ネットワーク
20. 学社連携・融合
21. 司法制度・裁判員制度に関する教育
22. 防災・防犯に関する教育
23. 社会教育活動への地域住民の参画・協働の促進
24. 地域の教育力の向上
25. 高齢社会への対応
26. キャリア教育(フリーター・ニート等への対応)
27. 子どもの基本的な生活習慣や規範意識の醸成
28. 公民館等の社会教育施設に関する指定管理者制度の導入
29. その他()

問5 社会教育委員の会議の議事内容等どのように公開されていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 議事録を自治体のホームページに公開している。
2. 議事録を所管課窓口や図書館等の行政機関で閲覧できる。
3. 情報開示請求があれば対応している。
4. 議事録の公開はしていない。
5. その他()

問6 貴市区町村の社会教育委員の委嘱に当たって、公募制(一部、全部いずれも含む)を導入していますか。該当するものに○をつけてください。

1. 導入している 2. 導入していない
↓
SQ1・2へ

SQ1 問6で「導入している」と答えた方に伺います。公募制を導入している目的は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 住民の意見やニーズの把握・反映
2. 「社会教育委員の会議」の活性化
3. 「会議」出席以外の「社会教育委員」の活動の活性化
4. 「住民との協働」の一環
5. 地域人材の活用
6. 公募委員導入が自治体の方針
7. その他()

SQ2 問6で「導入している」と答えた方に伺います。公募制は、いつから取り入れていますか。

昭和・平成	年	月から
-------	---	-----

問7 現在の社会教育委員の中で、貴自治体が設置する各種会議等の委員を、兼務している方がいますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 生涯学習審議会委員
2. 公民館運営審議会委員
3. 博物館協議会委員
4. 図書館審議会委員
5. 家庭教育、子育てに係る審議会等委員
6. スポーツ振興に係る審議会等委員
7. 健康増進に係る審議会等委員(食育を含む)
8. 青少年問題に係る協議会等委員
9. 職業能力開発に係る審議会等委員(ニート対策含む)
10. 交通安全対策に係る委員会等委員
11. 消費者問題に係る審議会等委員
12. 人権施策推進に係る審議会等委員

13. 男女共同参画推進に係る審議会等委員
14. 環境問題に係る審議会等委員
15. 社会福祉に係る審議会等委員
16. 市町村合併推進に係る審議会等委員
17. まちづくりに係る審議会等委員
18. その他()

問8 平成18年度の貴市区町村における社会教育委員の会議等に関する経費のうち、①会議出席に係る委員報酬等・旅費、②研究調査に係る経費、③研修に係る経費、④その他の活動に係る経費は、予算措置されていますか。予算措置されているものには予算額の総額を記入してください。なお、予算措置されていないものには「0円」とご記入ください。

種 別	金 額
①会議出席に係る委員報酬等・旅費	円
②研究調査に係る経費	円
③研修に係る経費	円
④その他の活動に係る経費	円

※「その他の活動に係る経費」が予算措置されていると答えた方は、SQへ

SQ 問8で「その他の活動に係る経費」を予算措置されていると答えた方に伺います。それは何を行うための経費ですか。具体的にご記入ください。

問9 貴市区町村では、平成18年度に「社会教育法第17条第2項」の規定に基づき、社会教育委員が、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べたことがありますか。該当するものに○をつけてください。

1. ある 2. ない
↓ ↓
SQ1へ SQ2へ

SQ1 問9で「ある」と答えた方に伺います。平成18年度の意見内容(予定を含む)を簡潔にご記入ください。

SQ2 問9で「ない」と答えた方に伺います。社会教育委員の意見は、教育委員会の会議にどのような方法で反映していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 答申や建議書等を資料として配付している。
2. 社会教育委員の会議の審議内容について事務局から説明している。
3. 教育委員会に社会教育委員の会議の議事内容を資料提供している。
4. 教育委員と社会教育委員の意見交換の機会があり、そこで意見を述べている。
5. その他()

問10 貴市区町村では、平成18年度に「社会教育法第17条第3項」の規定に基づき、社会教育委員として社会教育関係団体、社会教育指導者等に対して、青少年教育の特例事項について指導と助言をしたことがありますか(予定を含む)。該当するものに○をつけてください。

1. ある 2. ない
↓ ↓
SQへ

SQ 問10で「ある」と答えた方に伺います。平成18年度の指導と助言(予定を含む)は、だれに対してどのような内容でされましたか。簡潔にご記入ください。

指導・助言を行った対象	指導・助言の内容

問11 貴市区町村では、平成18年度に「社会教育法第17条第1項3号」の規定に基づき、社会教育委員として、研究調査を行っていますか(視察・調査・情報収集・研究協議等。予定を含む)。該当するものに○をつけてください。

1. 行っている 2. 行っていない
↓ ↓
SQ1へ SQ2へ

SQ1 問11で「行っている」と答えた方に伺います。平成18年度の研究調査は、どのような内容ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(機関・団体が実施している研究・研修会への参加は除きます。)

1. 様々な機関・団体における優れた社会教育事業の視察
2. 優れた取組を行っている社会教育施設等の視察
3. 社会教育に関する地域住民の意識調査の実施
4. 社会教育に関する地域の実態調査の実施
5. 地域住民の意向を把握するため社会教育委員の会議として実施した地域懇談会の開催、モニターの活用等の広聴活動
6. 他の市区町村の社会教育委員との意見交換又は研究協議
7. 教育委員との意見交換又は研究協議
8. その他()

SQ2 問11で「行っていない」と答えた方に伺います。社会教育に関する地域住民の意識の把握はどのような方法でなされていますか。工夫されていることなどを具体的にご記入ください。

問12 貴市区町村では、社会教育委員が参加している研修はありますか。該当するものに○をつけてください。

1. ある 2. ない
↓ ↓
SQ1へ SQ2へ

SQ1 問12で「ある」と答えた方に伺います。参加している研修は、どのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. (社)全国社会教育委員連合や都道府県社会教育委員連絡協議会等が実施する研究大会への参加
2. その他の社会教育関係団体(PTA・公民館等)が実施する研究大会への参加
3. 貴市区町村が実施する社会教育関係者対象の研修会への参加
4. 新任の社会教育委員を対象に社会教育に関する学習会を実施
5. 事務局職員等との研究会・研修会を実施
6. その他()

SQ2 問12で「ない」と答えた方に伺います。それはなぜですか。該当するものに○をつけてください。

1. 予算が措置されないから
2. 社会教育委員が多忙であるため参加者が少ないから
3. 参考となる研修会がないから
4. その他()

問13 貴市区町村では、現在、社会教育委員の今日的な役割として期待していることはどんなことですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 社会教育に関する諸計画の立案
2. 社会教育に関する建議や教育委員会の諮問に対する答申
3. 地域の社会教育に関する研究調査
4. 社会教育関係団体への補助金交付に対する意見具申
5. 貴市区町村内の社会教育に関するネットワークの形成
6. 他市区町村の先進的な社会教育事業に関する情報の収集・提供
7. 地域の社会教育に関する情報の行政への提供
8. 行政担当者との頻繁な意見交換やアイデアの提供
9. 住民の意向を行政や施策の運営に反映させるためのパイプの役割
10. 社会教育行政施策や事業の地域への普及
11. まちづくり・地域づくりへの積極的な貢献
12. 家庭・地域の教育力向上に関しての積極的な貢献
13. 家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割
14. その他()

問14 社会教育委員の会議の担当者として、社会教育委員の活動の課題について、お考えを自由に記述してください。

質問項目は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。